

令和4年度事業報告書

〔 令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

令和4年度事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町村の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、2019年度から2023年度までの5年間を期間とする「公益財団法人神奈川県下水道公社第6期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めるとともに、より一層の経費の削減に取り組みました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施困難な事業もありましたが、一部の事業では実施方法を変更するなど工夫をこらしながら、安定的な業務運営体制の確保に努め、事業に取り組みました。

2 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

(1) 主な維持管理施設等の概要

4箇所の下水处理場、9箇所のポンプ場、幹線管渠及び上部利用施設等の維持管理を行いました。

<主な下水道維持管理施設等>

(令和5年3月31日現在)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳島	酒匂	扇町
敷地面積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水処理施設 (施設能力 日最大)	6系列 (306,150m ³ /日)	9系列 (531,700m ³ /日)	3系列 (105,648m ³ /日)	2系列 (55,120m ³ /日)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	遠 心 2台 スクリュウ 2台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340m
ポ ン プ 場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 2.1 ha	扇町しらさぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「遠 心」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機
- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機

(2) 下水処理

流入下水の処理にあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

ア 流入下水量

流 域	下水処理場 (水再生センター)	流入下水量 (m ³ /年)		増減 (前年比%)
		令和4年度	令和3年度	
相模川	四之宮	81,691,050 (223,810)	84,729,110 (232,130)	△3,038,060 (96.4%)
	柳 島	148,305,310 (406,320)	152,948,600 (419,040)	△4,643,290 (97.0%)
	計	229,996,360 (630,130)	237,677,710 (651,170)	△7,681,350 (96.8%)
酒匂川	酒 匂	28,066,260 (76,890)	29,505,800 (80,840)	△1,439,540 (95.1%)
	扇 町	15,492,010 (42,440)	15,571,350 (42,660)	△79,340 (99.5%)
	計	43,558,270 (119,330)	45,077,150 (123,500)	△1,518,880 (96.6%)
合 計		273,554,630 (749,460)	282,754,860 (774,670)	△9,200,230 (96.7%)

(注)・流入下水量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

・酒匂川流域は、左右岸の相互運用後の数値を示す (酒匂から扇町へ 1,328,380m³送水)

イ 流入水及び放流水の水質測定結果

(ア) 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	170	3.5	210	2.9	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	260	12	260	6.1	
	最小	94	1.6	110	1.5	
COD (mg/L)	平均	94	9.1	120	9.3	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	110	12	170	12	
	最小	62	6.6	74	7.6	
SS (mg/L)	平均	202	1.8	240	2.0	70 (50)
	最大	370	8.8	328	4.4	
	最小	138	1.0 未満	180	1.0 未満	
pH	平均	7.2	6.7	7.3	6.6	5.8~8.6
	最大	7.6	7.0	7.7	6.8	
	最小	6.9	6.2	6.9	6.4	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	190,000	7	530,000	100	3,000
	最大	530,000	52	1,700,000	360	
	最小	75,000	1 未満	60,000	12	

(注)・BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質、pHは水素イオン濃度(水素指数)を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、()は日間平均値(1日の平均の値)を示す。

(イ) 酒匂川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	150	2.3	160	4.5	25 (20)
	最大	190	4.4	220	8.1	
	最小	110	1.1	120	2.3	
COD (mg/L)	平均	84	7.3	100	12	25
	最大	130	9.6	160	19	
	最小	58	6.0	66	8.5	
SS (mg/L)	平均	168	1.0 未満	162	4.0	70 (50)
	最大	240	2.6	242	10.8	
	最小	114	1.0 未満	124	1.2	
pH	平均	7.4	6.5	7.4	6.8	5.8~8.6
	最大	7.8	6.7	7.9	7.0	
	最小	6.9	6.4	7.0	6.5	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	140,000	17	410,000	270	3,000
	最大	410,000	140	2,100,000	1,400	
	最小	70,000	1 未満	110,000	6	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

(3) 汚泥処理

発生した汚泥等は原則焼却し、焼却灰等は全量資源として有効利用しました。

ア 汚泥等発生量

流域	下水処理場 (水再生センター)	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和4年度	令和3年度	
相模川	四之宮	57,078	57,357	△279 (99.5%)
	柳島	126,393	122,282	4,111 (103.4%)
	計	183,471	179,639	3,832 (102.1%)
酒匂川	酒匂	19,365	19,694	△329 (98.3%)
	扇町	8,696	8,210	486 (105.9%)
	計	28,061	27,904	157 (100.6%)
合計		211,532	207,543	3,989 (101.9%)

(注)・汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

・流入下水量の減少に対し汚泥等発生量が増加した要因は、全水再生センターとも流入下水に占めるよごれの割合が高かったため。また、この他、扇町においては、左右岸の相互運用での受水量が増加したこと及び脱水汚泥の含水率が上昇したことによる。

イ 焼却灰等処分量

流域	下水処理場 (水再生センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和4年度	令和3年度	
相模川	四之宮	1,504	1,559	△55 (96.5%)
	柳島	2,901	2,650	251 (109.5%)
	計	4,405	4,209	196 (104.7%)
酒匂川	酒匂	2,062	2,039	23 (101.1%)
	扇町	213	209	4 (101.9%)
	計	2,275	2,248	27 (101.2%)
合計		6,680	6,457	223 (103.5%)

(注)・焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

・汚泥等発生量に対して、焼却灰等処分量が増加した要因は、柳島においては焼却沈砂の発生量が増加したためであり、酒匂においては焼却炉の不具合により、脱水汚泥、焼却沈砂(炉内砂替え)の場外処分量が増加したため。

(4) 流入水質の維持確保に向けた支援

流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査、水質異常時の原因究明調査及び水質規制に関する相談・提案などの技術支援（アシスト下水道）を行いました。

また、特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町の担当者及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

なお、研修会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から分散開催やオンライン開催などにより実施しました。

ア 水質規制技術支援業務（アシスト下水道）

＜技術支援業務実施状況＞ (件)

流 域	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	10 (7)	1 (1)	39 (42)	24 (17)	74 (67)
酒匂川	1 (2)	2 (2)	38 (39)	13 (12)	54 (55)
合計	11 (9)	3 (3)	77 (81)	37 (29)	128 (122)

(注) () は、前年度の実施回数

イ 研修会の開催

(ア) 水質規制業務内容に係る研修会

＜研修会実施状況＞

実 施 月	令和4年5月
開催場所	四之宮水再生センター（ZOOM オンライン研修）
対 象 者	流域関連市町の水質規制担当新任職員
受講者数	22名
内 容	(1) 水質規制業務の概要について (2) 水質異常等の対応、特定事業場台帳の利活用について

(イ) 水質規制担当者特別研修会

＜研修会実施状況＞

実 施 月	令和4年11月（2日間、3グループに分けて分散開催）
開催場所	四之宮水再生センター
対 象 者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	19名
内 容	(1) 「水質管理の基礎」から「金属表面処理業の排水処理方法」等、 経験年数に応じた講義及び水質実習 (2) 小グループによる水質規制に関するディスカッション

(ウ) 事業場排水担当者研修会

<研修会実施状況>

実施月	令和4年12月
開催場所	ZOOM (オンライン研修)
対象者	流域関連市町の事業場排水処理担当者
受講者数	129名
内容	(1) 下水道法の概要について (2) 下水処理場での処理の限界について

ウ パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、分かりやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者の皆様にご利用いただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(5) 老朽化対策

定期的な健全度診断や調査結果に基づき、設備機器や幹線管渠について、適正な管理を行いました。

(6) 設備機器の点検・補修等

精密点検基準等に基づき、設備機器について計画的に修繕を行いました。
また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

(7) 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画 (BCP)」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実を図りました。

(8) 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査等を行い、環境保護に努めました。

ア 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

イ 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

<敷地境界等臭気測定調査結果>

流域	下水処理場 (水再生センター)	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	5地点	10未満	15
	柳島	6地点	10未満	15

酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

ウ クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

(9) 施設見学

小学校や自治会、地域の方々などを対象に、施設見学を随時受け付け、施設の案内や下水道の役割などの説明を行いました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流 域	下水処理場 (水再生センター)	行政機関	学 生		一般	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	71	227	24	42	0	364
	柳 島	0	284	152	45	77	558
酒匂川	酒 匂	4	178	34	35	0	251
	扇 町	0	61	4	101	28	194
合 計		75	750	214	223	105	1,367

(注) 令和3年度は、施設見学の受け入れを中止しました。

(10) 下水道ふれあいまつり

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう実施してきました「下水道ふれあいまつり」は、令和4年10月22日に、相模川流域は柳島水再生センターで、酒匂川流域は酒匂水再生センターで開催予定でしたが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

3 流域下水道の下水処理等維持管理業務と一体となって実施する改築業務

施設の定期的な分解点検や修繕工事の実施に合わせて、老朽化が進んだ設備について、設備の更新を実施することで、設備の停止期間の短縮や更新工事経費の縮減を図り、効率的で安定した運転管理を行いました。

4 市町村支援事業

(1) 下水道の水質分析等受託

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

<特定事業場等水質調査業務受託概要>

区分 年度 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	4	3	増減	4	3	増減	4	3	増減
相模川流域 関連市町	7	7	0	112	107	5	6,173	6,362	△189
酒匂川流域 関連市町	7	7	0	48	47	1	3,058	3,301	△243
計	14	14	0	160	154	6	9,231	9,663	△432

(2) 下水道施設を維持管理するための技術的支援

単独処理場を有する一部の市町村に対して、下水処理場の現場視察及び維持管理に関する意見交換を実施し、維持管理に関する提案及び助言を行いました。また、緊急時及び災害時に備えた防災備蓄資機材等に関する情報提供を行いました。

5 下水道知識普及啓発事業及び下水道担当職員研修事業

(1) 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象に作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募された作品の中から入賞者を表彰するとともに、入賞作品の広報への活用を行いました。

<下水道作品コンクール表彰式>

- ・開催日：令和5年2月11日(祝)
- ・開催場所：ひらしん平塚文化芸術ホール

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	79 (80)	502 (528)	2,650 (2,482)	3,231 (3,090)	参加学校数：149 (148) 参加市町数：21 (20)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、令和3年度の実績数。ただし、表彰式は中止しました。

(2) 下水道教室の実施

ア 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす

役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。また、オンラインによる教室も活用し、一層のPRに努めました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
56 校 (59 校)	131 クラス (143 クラス)	4,047 人 (4,377 人)

(注) () は、前年度の実績数

イ 夏休み下水道教室

県内在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを4回予定していましたが、大変人気の教室であるため、令和4年度は応募数を増やし午前と午後の2回ずつ、計8回実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	開催場所	実施日	参加者数	
相模川	四之宮水再生センター	令和4年8月9日(火)	AM	30人
			PM	35人
	柳島水再生センター	令和4年8月4日(木)	AM	27人
			PM	18人
酒匂川	酒匂水再生センター	令和4年7月29日(金)	AM	24人
			PM	26人
	扇町水再生センター	令和4年7月26日(火)	AM	22人
			PM	21人
計			203人	

(注) 令和3年度は、中止しました。

ウ 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、汚れた水をきれいにする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学び体験する講座に参加していただき、理解を深めていただくとともに、この講座では、授業の中で子供たちの理解と関心が高まるような情報や資料を提供しました。

<「下水道サポーター」講座実施結果>

開催場所	実施日	参加者数
扇町水再生センター	令和4年8月5日(金)	35人
酒匂水再生センター	令和4年8月15日(月)	2人

(3) 市町主催の環境イベント等への参加

流域関連市町が主催する環境に関するイベント等に参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割について PR しました。

<市町環境等イベント参加結果>

市 町	イベント名	参加日	公社ブース 来場者数
相模原市	第 18 回 さがみはら環境まつり	6 月 19 日	383 人
南足柄市	第 26 回 南足柄市環境フェア	6 月 22～25 日 (公社出展 22～24 日)	展示のみ
平塚市	ひらつか環境フェア 2022	7 月 17 日	105 人
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア 2022	10 月 2 日	197 人
中井町	美・緑なかいフェスティバル 2022	10 月 16 日	249 人
藤沢市	ふじさわ下水道フェア 2022	10 月 30 日	296 人
開成町	かいせい環境フェア 2022	11 月 13 日	134 人
綾瀬市	あやせ環境フェア 2022	11 月 19 日	133 人
寒川町	第 38 回令和 4 年度 寒川町産業まつり	11 月 20 日	555 人
大井町	第 11 回大井町環境展	11 月 23 日	126 人
松田町	第 23 回まつだ産業まつり	11 月 27 日	570 人
合計 (11 市町)			2,748 人

(注) 令和 3 年度は、3 市のイベントに参加。

(4) 春休み水再生センター見学会

夏の「夏休み下水道教室」、秋の「下水道ふれあいまつり」に続いて、県内在住の方を対象として、春休み期間中に下水処理場の施設見学会を実施しました。

<春休み水再生センター見学会実施結果>

開催場所	実施日	参加者数
四之宮水再生センター	令和 5 年 3 月 28 日(火)	4 人

(5) ホームページによる情報発信

汚れた水をきれいにする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用していただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

また、ホームページをより見やすく、使いやすいものになるようリニューアルしました。

(6) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、次の研修会を実施しました。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研修会 コース名	開催年月日	対象者 (受講者数)	内 容
一 般	令和4年6月22日(水)	主に経験5年 未満の職員 (53人)	(オンライン) ・下水道の概説と下水道法の概要 ・下水処理場の仕組みと水質管理
専門技術	令和4年11月25日(金)	主に経験5年 以上の職員 (12人)	(対面式) ・下水処理場における省エネルギー対策に関する講義 ・柳島水再生センター現場視察
管 理 者	令和4年8月31日(水)	主に幹部職員 (33人)	(オンライン) ・下水道事業についての取り組み ・公社調査研究発表(4件)

6 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめました。

(1) 調査研究実施概要

次の2項目について調査研究を行いました。

ア 普及啓発業務における新たな取組み等について

実施所属	目 的	結 果
企 画 課	コロナ禍などの特殊な状況下においても市町や小学校などのニーズに応えられる普及啓発を充実させるため、オンライン方式を使った新たな取組みや改善に関する検討をするものです。	下水道出張教室や夏休み下水道教室、市町環境イベント、研修会などの参加者のニーズを把握するため、アンケート等を実施しました。 アンケート等の結果、コロナ禍であっても従来の「対面方式」を希望

		<p>する参加者は多いものの、参加できなかった方からは、「オンライン方式」や「オンデマンド配信」を希望する意見もありました。</p> <p>これを踏まえ、コロナ禍などでも実施できる「オンライン方式」と「対面方式」を組み合わせた「ハイブリッド方式」の導入や、録画を後日配信する「オンデマンド配信」の導入などの改善をしていきたいと考えています。</p>
--	--	--

イ 酒匂川流域下水道における製造業又はガス供給業に係る排水規制の緩和による影響について

実施所属	目的	結果
水質課	<p>下水道条例改正に伴い、酒匂川流域下水道の下水道排水基準の規制が緩和されたことから、規制緩和前後の各項目の水質変動を調査することで処理場への影響を確認するものです。</p>	<p>調査・確認にあたっては、下水道排水基準で規制緩和された 5 項目のうち、製造業等事業場排水の主要項目である 3 項目(水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質(SS))に着目しました。</p> <p>調査・確認の結果、規制緩和により複数の製造業等の事業場排水では BOD、SS の濃度上昇がみられ、流域幹線調査では、左岸幹線よりも右岸幹線の方が BOD、SS 濃度が上昇傾向でした。</p> <p>また、下水処理場では、左岸の酒匂水再生センターにおいては、pH、BOD、SS のすべての項目で規制緩和による影響はみられませんでした。事業場排水の割合が高い右岸の扇町水再生センターでは、流入水の BOD、SS 濃度の上昇に伴い放流水質が上昇するなどの影響もみられるものの、いずれの項目も当公社が定める自主管理基準値を大幅に下回っており、良好な下水処理を継</p>

		<p>続することができました。</p> <p>規制緩和の影響については、今後も引き続き状況を注視していくこととします。</p>
--	--	---

(2) 研究報告

調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	令和3年度 調査研究報告書 (第40号)
掲 載 内 容	<p>①重力濃縮槽等における硫化水素濃度について</p> <p>②流域関連市町の技術支援に関する検討</p> <p>③維持管理情報の電子化とその活用</p> <p>④インターネットを活用した幹線管理について</p>

<管理部門>

1 職員の状況

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	構成職員数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総務部長	小柴義隆	1					1
業務部長	西村佳裕				1		1
総務課長	糸満茂人	8					8
企画課長	伊藤幹生	2				2	4
業務課長	(西村佳裕)		1	1	1		3
水質課長	青山光男					8	8
四之宮水再生センター所長	渡部宏則		1	4	3	4	12
柳島水再生センター所長	和田安雄		2	5	5	4	16
酒匂水再生センター所長	星野郁夫		1	2	2	2	7
扇町水再生センター所長	五十嵐雄大			1	2	3	6
合計		11	5	13	14	23	66

(注) () は兼務職員。構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(令和5年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1	—	1
常務理事	2	—	2
理事	—	6	6
監事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(令和5年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
評議員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(令和5年3月31日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	中 村 正 樹	常 勤	
常 務 理 事	田 代 秀 行	〃	
常 務 理 事	鈴 木 仁	〃	
理 事	鈴 木 登	非 常 勤	厚木市 都市整備部長
〃	梶 元 興	〃	南足柄市 都市部長
〃	黒 木 久	〃	寒川町 都市建設部長
〃	由 井 要	〃	大磯町 都市建設部 参事(下水道担当)兼下水道課長
〃	須 藤 肇	〃	中井町 環境上下水道課長
〃	澁 谷 好 人	〃	松田町 環境上下水道課長
監 事	志 村 高 史	非 常 勤	秦野市 上下水道局 参事(兼)経営総務課長
〃	猪 鼻 久 義	〃	公認会計士・税理士

エ 評議員一覧表

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	小林久司	非常勤	自由が丘産能短期大学 能率科 学科長、教授
〃	伊與亨	〃	文京学院大学 保健医療技術 学部 非常勤講師
〃	渡邊建太郎	〃	相模原市 都市建設局 土木部長
〃	武井敬	〃	平塚市 土木部長
〃	石井謙司	〃	小田原市 理事・上下水道局長
〃	大竹功	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	加藤康介	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	鈴木慎一	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	飯塚健	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

- 日 時 : 令和4年6月9日(木)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社(平塚市)
出席者数 : 理事6人 監事1人
議 事 : (第1号議案) 令和3年度事業報告書及び決算報告書
(第2号議案) 評議員会の招集の件
報告事項 : (1) 令和3年度第2回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行
状況報告
(2) 専決処分事項の報告 (令和4年度収支補正予算書)
(3) 第6期経営改善計画 2021年度実績状況報告書

<第2回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

- (第1号議案) 理事長及び常務理事の選定の件
(第2号議案) 事務局長の選任の件

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日
令和4年6月24日(金)

<第3回理事会>

- 日 時 : 令和5年3月23日(木)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社(平塚市)
出席者数 : 理事8人 監事2人
議 事 : (第1号議案) 令和5年度事業計画書
(第2号議案) 令和5年度収支予算書
(第3号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員の定年等に関する規程
(第4号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員就業規程の一部を改正する規程
(第5号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員退職手当規程の一部を改正する規程
(第6号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社職員給与規程の一部を改正する規程
(第7号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社組織規程等の一部を改正する規程

- 報告事項：(1) 令和4年度第1回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告
(2) 専決処分事項の報告（令和4年度収支補正予算書、規程の一部改正）

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

- 日 時：令和4年6月24日（金）
場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）
出席者数：評議員6人（理事3人、監事1人）
議 事：（第1号議案）令和3年度計算書類の承認の件
（第2号議案）任期満了に伴う理事の選任の件
（第3号議案）任期満了に伴う監事の選任の件
（第4号議案）評議員の選任の件
- 報告事項：(1) 令和3年度事業報告書
(2) 令和3年度収支補正予算書
(3) 令和4年度事業計画書及び収支予算書
(4) 令和4年度収支補正予算書
(5) 第6期経営改善計画 2021年度実績状況報告書

5 情報公開

当社は、四之宮水再生センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。

